

江戸中は「感動」を全員の声で..!

●江戸川中学校への出張指導!

今日は市立江戸川中学校(柳田敏夫校長、生徒数66名)への出張指導でした。第1部では、バリトン歌手の富田千種様とソプラノ歌手のシルヴィア・リーザー様、そしてピアニストの大館裕美様が演奏を披露され、本格的なドイツ・リート(歌曲)の魅力を伝えてくれました。ドイツ語やイタリア語で歌われた歌の中味を理解することはできなかったでしょうが、歌の楽しさ、声の美しさ、メロディや音程、声の強弱など勉強できたのではないのでしょうか。

江戸川中学校の今日のブログにも..。



〔曲目を紹介される富田千種様〕



〔歌曲を歌われるシルヴィア・リーザー様と伴奏の大館裕美様〕



〔生徒全員に指導される富田様〕



〔生徒たちから出演者お3方にお礼の花束贈呈〕

さ素晴らしさを感じてもらおうという試みでした。

* * ◆音楽出張講座

久しぶりに晴れてさわやかな朝になっています。昨日の生徒会に続き、今日は安全委員会による挨拶運動が行われました。朝に読書を楽しみ、スムーズに授業に入ることができました。今日の午後には音楽出張講座が開催され、世界で活躍する音楽家の皆さんが来校しました。音楽の魅力に触れ、音楽を満喫することができました。〔10/18〕

* *
私の写真よりも素敵なアングルでばっちり写っているので借用させていただきました。

第1部の狙いは、本格的な発声法による歌声に触れてもらい、歌うことの楽し

富田様が一曲ずつ解説をしてくださいます。

「一曲目は、ドイツ歌曲の『すみれ』です。ウィーンが音楽の都と言われるのは、たくさんの作曲家がウィーンで素晴らしい曲を次々と作ったからです。この『すみれ』は、ゲーテの詩にモーツァルトが曲を付けたものです。スミレの花が野原を歩く少女の姿を見つけて彼女に摘まれたいと望むのですが、その少女に踏み付けられてしまうのです。でも、スミレは幸せだったというものです。」

「二曲目は、モーツァルトの後を継いだベートーヴェン、その後のブラームスの『子守唄』です。日本にもさまざまな子守唄がありますが、赤ん坊を包み込む優しいメロディが特徴です。」

「皆さん、これまでのリーザーさんの歌は何語で歌われたか分かりますか。そうドイツ語です。今の皆さんには言葉の意味は分からないかも知れませんが、美しいメロディにのった歌詞の美しさを感じてもらえたのではないのでしょうか。次はイタリア民謡で『帰れソレントへ』です。皆さんの音楽の教科書にも載っている曲です。」

「次はウィーンの町を歌った曲です。ウィーンは、深い森に囲まれた盆地です。ドナウ川がゆったりと流れ美しい町です。現在は170万人位の都市ですが、古くは東ローマ帝国の首都として栄え、宮殿や劇場などがたくさん造られました。今でも6つの劇場があり、ほとんど毎日、オペラやコンサートが開かれています。そんなウィーンの素晴らしさを歌った曲『ウィーンは夜が一番美しい』です。」

「今日はピアニストの大館さんがお越しですので、ピアノ曲を一曲、モーツァルトが作曲した『トルコ行進曲』です。」

「次はオペラから一曲、オペラというのは歌と演劇が一緒になったもので、大道具で背景が組み上げられ、さまざまな登場人物が現れます。『魔笛から二重唱』をお送りします。」

「最後は、『ウィーン我が夢の町』です。」

* *

25分間素敵な歌声を楽しませていただきました。そして、生徒の皆さんに呼吸法を伝授して第1部を終了しました。校長先生のご挨拶に今年の合唱祭のテーマは「For One Purpose (『感動』を全員の声で)」というお話がありましたが、第2部ではそれを実現するための熱血指導が行われました。



〔魔笛から二重唱〕